



2021年10月28日

各 位

会社名 協栄産業株式会社
代表者名 取締役社長 平澤 潤
(コード番号 6973 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員
村本 篤
(TEL 03-3481-2111)

第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、2021年7月29日に開示いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日開示の実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異について

2022年3月期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 28,500	百万円 300	百万円 350	百万円 400	円 銭 131.28
今回実績（B）	28,668	644	753	597	196.03
増減額（B－A）	168	344	403	197	-
増減率（％）	0.6	114.7	115.4	49.3	-
（ご参考）前第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	24,957	△180	△154	△97	△31.94
（ご参考） 前第2四半期実績比（％）	114.9	-	-	-	-

2. 第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高については、ほぼ予想通りとなりました。

営業利益、経常利益については、産業機器システム事業において、主要客先からの加工装置・自動化システムの大型設備投資案件が継続し、好調に推移したこと、半導体デバイス事業ならびにシステム開発事業において、利益率の改善により粗利益が増加したことに加え、グループ全体において販売費及び一般管理費の削減等

に努めたことにより、予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、本社及びTRCオフィスの移転に備えるため、将来支出されると見込まれる金額1億2百万円を本社移転費用として特別損失に計上いたしました。営業利益、経常利益の増加により、予想を上回る結果となりました。

なお、2022年3月期通期の業績予想につきましては、本日開示の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、2022年3月期において、特別利益に固定資産売却益を1,471百万円（概算）を計上する見込みです。その他移転等の他の要因も含め当社業績へ与える影響を現在精査中であること、加えて長期化する半導体デバイス品不足や原材料価格高騰の影響等、不透明な要素もあるため、通期業績予想値は詳細が判明次第、改めて開示する予定です。

3. 剰余金の配当（中間配当）

2021年10月28日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

（1）内容

	決議内容	直近の配当予想	前期実績
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	30円	20円	10円
配当金の総額	91百万円	—	30百万円
効力発生日	2021年11月29日	—	2020年11月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）理由

当社は、株主還元を重視し、配当性向を考慮し安定した配当を継続することを基本方針としております。当第2四半期連結累計期間の業績が前回発表予想から改善したことを踏まえ、当中間期の配当金につきましては、1株につき前回予想より10円増配し、30円とさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、「2. 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異の理由」で記載のとおり各種要因も含めた通期業績予想値を現在精査中であるため、通期業績予想値が判明次第、改めて開示する予定です。

（ご参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
当期実績及び予定	30円（実績）	20円（予定）	50円（予定）
前期実績(2021年3月期)	10円	10円	20円

上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上